

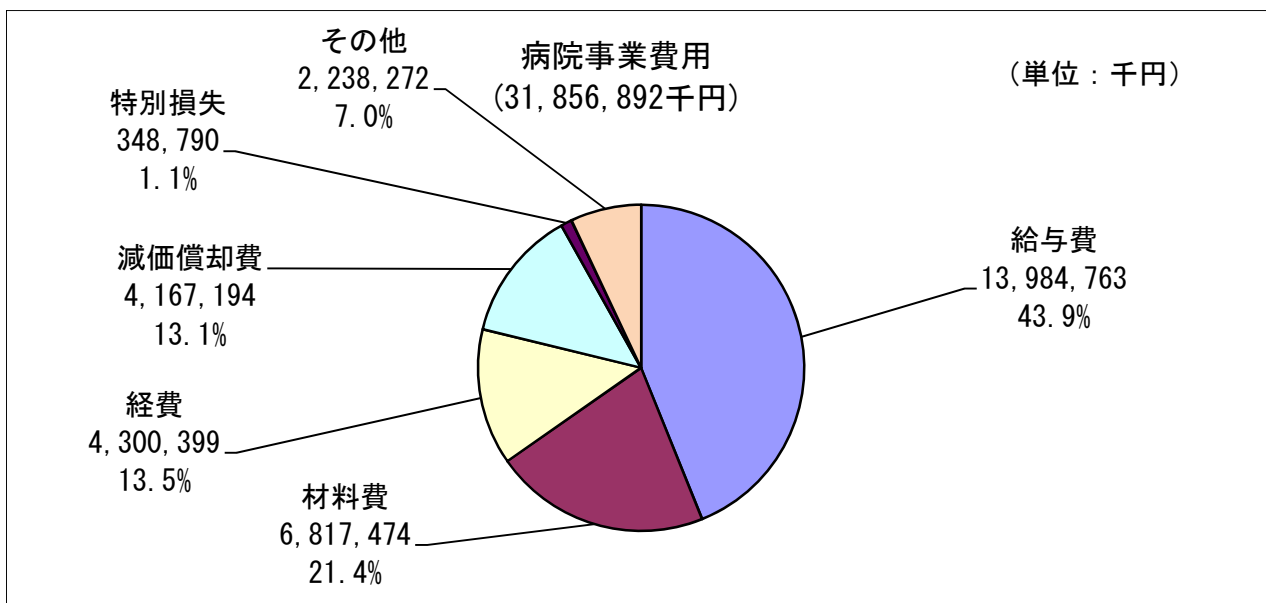
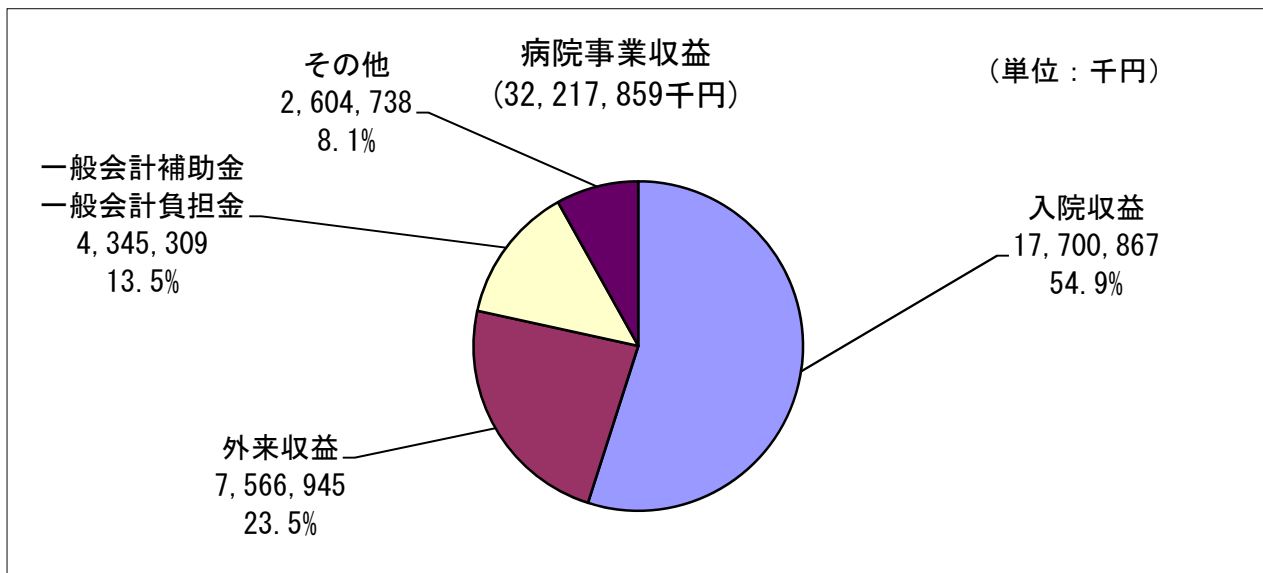
名古屋市病院事業会計 平成27年度決算の概要

1 病院事業全体の収支

名古屋市病院事業は、東部医療センター、西部医療センター及び緑市民病院（指定管理者による運営）の3市立病院を設置し、市民の皆さまに医療の提供を行ってまいりました。

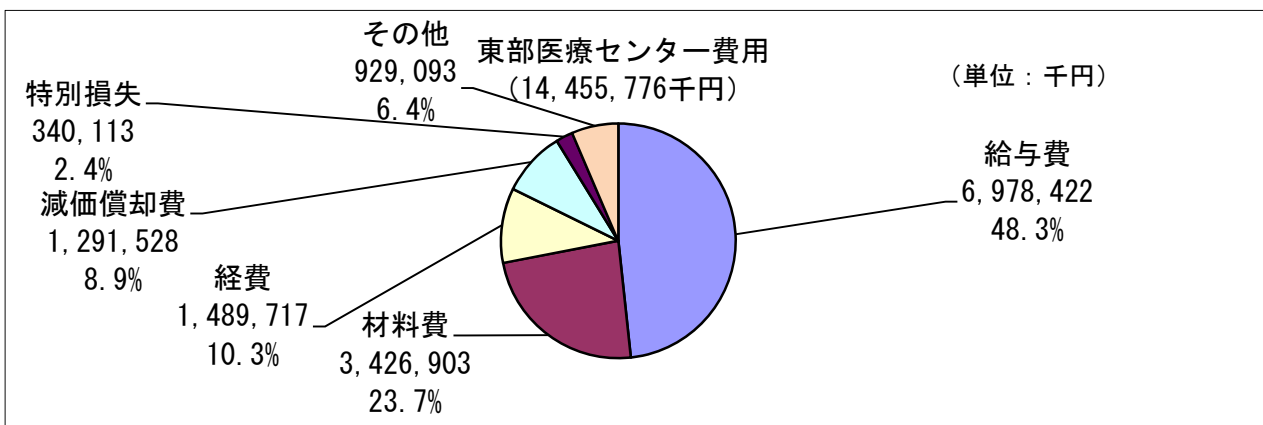
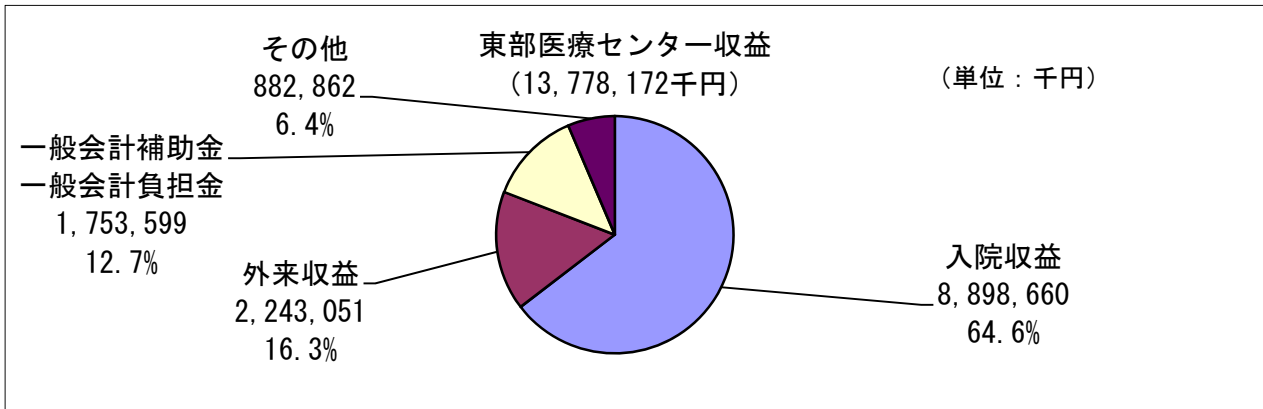
平成27年度における病院事業会計の収益的収支は、総事業収益は、前年度に比べ西部医療センターにおいて入院収益及び外来収益が増加したことなどに伴い、10億2千8百万円余増の322億1千7百万円余であるのに対し、総事業費用は、前年度に行った地方公営企業会計制度の見直しに伴う引当金の一括計上の影響がなくなったことから、41億6千5百万円余減の318億5千6百万円余となりました。その結果、3億6千万円余の当年度純利益となり、病院局設置以後、初めての黒字を計上し、当年度未処理欠損金は81億6千2百万円余となりました。

平成27年度は主な建設改良事業として、東部医療センターでは液体酸素タンク等設置工事や病棟改築の設計、緑市民病院では本館空調改修工事などを行い、東部医療センターの病院情報システム、西部医療センターの強度変調陽子線治療システムなど、各病院の設備充実にも努めました。

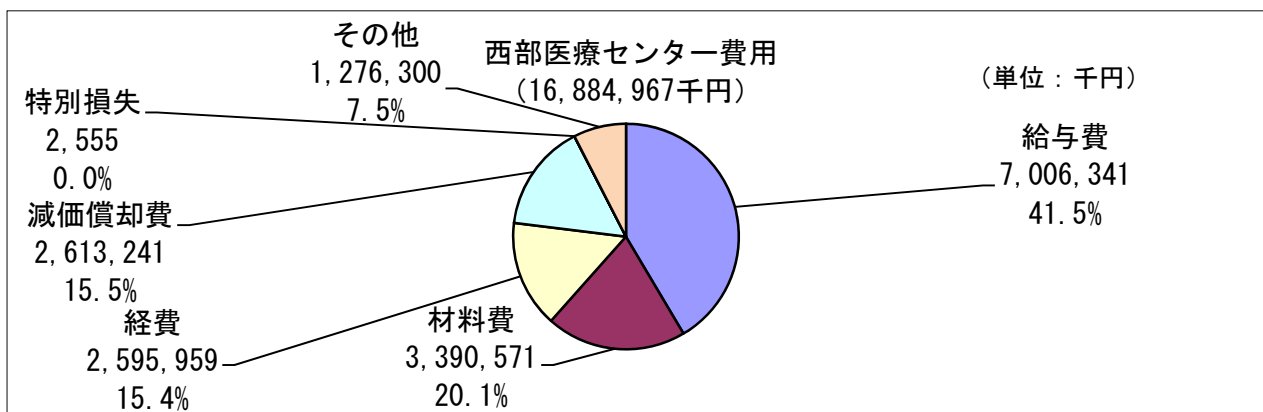
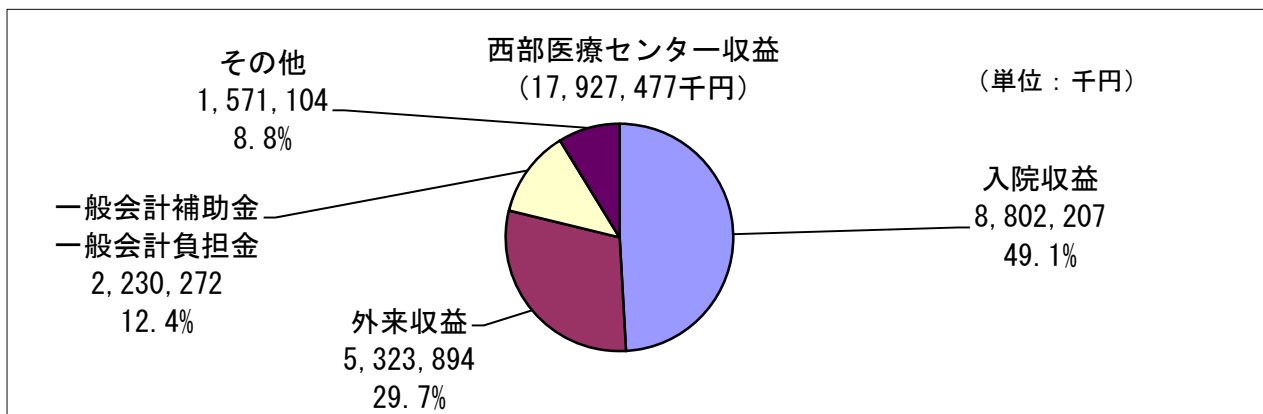


2 各病院の収支

(1) 東部医療センター



(2) 西部医療センター



(3) 緑市民病院

